

第2 令和6年度予算の補正の概要について

1 補正予算の概要

令和6年度の当初予算については、前回の「財政状況」に掲載しておりますが、その後、6月定例府議会では、当初予算編成後に生じた国費の内示増など、対応が必要なものに限定して補正予算を編成しました。

具体的には、大阪・関西万博の開催に向け、京都の多様な魅力を来場者に伝えるための準備に要する経費や、府市トップミーティングの成果としてはじめての施策となる、府市の多様なエリアの魅力を活かした周遊観光ツアーの造成、また、道路事業をはじめとするあたたかい京都づくりの実現に向けた基盤づくりなど、一般会計で37億5,100万円の予算補正を行いました。

令和6年度 6月補正予算案



予算編成の基本方針

令和6年度当初予算は、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点から「あたたかい京都づくり」を加速化するために必要な予算を編成したところ。



当初予算の着実な執行に努めつつ、当初予算編成後に生じた国費の内示増など、対応が必要なものに限定して編成する。

1



大阪・関西万博開催に向けた取組

拡

大阪・関西万博きょうとの魅力発信事業費 国庫負担率 60% 20百万円

関西パビリオンの多目的エリアにおいて京都の多様な魅力を発信

会期を通じて発信を行う京都ブースに加え、京都の多様な魅力を日替わりで来場者に伝えるための準備に取り組む



新

けいはんな次世代技術基盤整備事業費 50百万円

精華大通りにスマートインフラを整備することで持続可能な実証環境を構築

通信環境基盤や安全制御基盤を整備



けいはんな万博で、ロボット運動会や、公道での自動運転レベル4の走行実演等を披露予定

拡

伏見港公園整備事業費 公共事業の内数

伏見港での舟運復活を見据え、観光客等の回遊性向上につながる園路を整備

2



その他の施策①

新

府市連携周遊観光促進事業費 府市トップミーティング 10百万円

府市トップミーティングの成果として、はじめての施策となる周遊観光に着手

府市トップミーティング(4/11)での合意事項

周遊モデルツアーの造成促進など、府市連携による周遊観光の推進

〇府市の多様なエリアの魅力を活かした周遊観光ツアーの造成

〇周遊効果を高めるための効果検証の実施

〇旅行事業者向けのファムトリップ等の実施



今後も府市連携による周遊観光促進の取組をブラッシュアップしていく

3

その他の施策②

新 **地域医療人材確保加速化事業費** **34百万円**
 緊急的な医師確保対策を実施することで中北部地域の医師不足に対応
 北部医療センターにおける地域医療のあり方を検討する講座の開設を支援
 講座の研究員として新たに小児科医等を6名確保

拡 **脱炭素行動促進事業費** **108百万円**
 太陽光発電設備等の設置支援により府内の温室効果ガス排出量を削減
 事業者や家庭での太陽光発電設備等の設置を支援(R6～R10)
 家庭部門 ○戸建て住宅やマンションの共用部への設置
 事業部門 ○農地や駐車場等への設置

臨 **向日町競輪場周辺地域まちづくり協働検討費** **1百万円**
 向日市をはじめとする周辺市町との協働によるまちづくりを検討

4

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

拡 **道路整備等の公共事業** **3,528百万円**
 人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを加速化

箇所例

			
国道312号 (京丹後市)	国道307号 (城陽市～京田辺市)	(都)並河亀岡停車場線 (亀岡市)	おおぞら川 (福知山市)
まちづくりにおける 都市機能の向上	第1次緊急輸送道 路の早期の耐震化	歩行者等の早期 の安全性向上	土砂災害による 被害の防止・軽減

5

予算案の規模

6

予算案の規模

令和6年度 現計予算 995,031百万円	令和6年度 補正後予算額 998,782百万円
令和6年度 6月補正予算 3,751百万円	

7

9月定例府議会では、大阪・関西万博に向け、オール京都で知恵を出し合ったフラッグシップ・アクションの準備に要する経費や、事業活動や府民生活を守る対策として、中小企業や社会福祉施設、保育所・幼稚園等の環境改善の支援のほか、府市連携の推進として、府立・市立の高校生が日頃の探求学習の成果発表や意見交換を行う機会の創出に要する経費、また、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に要する経費など、一般会計で25億7,000万円の前算補正を行いました。

令和6年度 9月補正予算案



1 大阪・関西万博に向けた準備

府域における取組の準備経費について予算を計上

2

大阪・関西万博に向けた準備②

拡 植物園アートナイトウォーク事業費 45百万円

植物園とメディアアートを掛け合わせた京都の新たな魅力を世界に発信

万博開催期間中における、生物多様性をテーマとしたメディアアートの開催に向けた準備に着手

- OR7の展示規模の拡大に向けて必要な設備整備
- 〇地元商店街との協力による機運醸成



拡 Music Fusion in Kyoto音楽祭事業費 15百万円

万博を契機に音楽が日常を彩る京都を創出

吹奏楽・合唱・ダンスなどに励む小中高生の発表等に向けた準備に着手



4

事業活動や府民生活を守る対策①

新 生産性向上・人手不足対策事業費 500百万円

中小企業や社会福祉施設、保育所・幼稚園等の環境改善を支援

好事例の模倣

生産性向上の好事例を取り込むための勉強会・ワークショップ等の開催を支援



具体的な取組支援

上記勉強会等の参加者による生産性向上に資する設備導入等を支援

【想定支援事例】

- 中小企業 ⇒ 複数の飲食店による共同仕入管理システムの導入
- 高齢・障害者施設 ⇒ 入浴・移動介助をサポートする介護ロボットの導入
- 保育所・幼稚園等 ⇒ 見守り機能(カメラ)や園バス運行管理アプリの導入

最大200万円を補助

ソフトとハードを組み合わせ一体的支援により、幅広い分野での生産性を向上

6

予算編成の基本方針

当初予算編成後に生じた課題への対応や、来年度に向けた準備に必要な予算を編成する。

- 1 大阪・関西万博に向けた準備
- 2 事業活動や府民生活を守る対策
- 3 府市連携の推進

1

大阪・関西万博に向けた準備①

新 きょうとまるごとお茶の博覧会開催費 24百万円

万博を契機に京都を訪れる国内外の人々に京都の茶文化を発信

京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から茶器・茶道具職人などが一体となって、京都を訪れる人々に京都の茶文化を発信

- 〇ブレ・オープニング茶会の開催(R6.11月)
- 〇お茶体験イベント(茶摘み、茶器づくり等)の開催に向けた準備(R7.4月以降に順次実施)



新 京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業費 30百万円

駅周辺を京都らしさ溢れる玄関口として、府域への誘客を推進

R7.4月からの実施に向け準備に着手

- 〇万博関連情報や府域イベントの案内スタッフの確保・育成
- 〇「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」等のプロモーション
- 〇京都駅周辺エリアのイベントを企画



3

2 事業活動や府民生活を守る対策

5

事業活動や府民生活を守る対策②

拡 エネルギー高騰等対策事業費 290百万円

国の支援対象とならないLPガスの消費者負担を軽減

- 〇LPガスの消費者に対して、1契約当たり1,000円(上限)を支援
- 〇国の電気・都市ガス料金支援と合わせて8月～10月分を支援



拡 耕畜連携推進事業費 50百万円

化学肥料等の価格が高止まる中、堆肥活用を支援し生産コストを抑制

- 〇堆肥購入、運搬、散布等に係る経費を支援
- 〇堆肥散布機械等の導入経費を支援



府内産堆肥の地産地消を推進し、みどり認定を受ける農業者を増やす(現状:290名→R6目標:400名)

7

3 府市連携の推進

8



府市連携の推進

新

京の高校生探究パートナーシップ事業費 府市トップパートナーシップ 3百万円

府市連携により高校生が学びをより深めていくための機会を創出

府立高校と京都市立高校が連携した最初の取組として、京の高校生探究パートナーシップ事業のキックオフイベントとなる探究学習の成果発表会を開催

〔開催日：12/21(土)、開催場所：京都国際会館(予定)〕



- 大学教授による講演や生徒とのパネルディスカッションを実施
- 高校生が探究活動の成果を発表する機会の創出



9

4 その他の施策

10



その他の施策

拡

丹後郷土資料館整備推進費 後援費総額 3,670百万円 60百万円

丹後地域の歴史文化の探訪・観光の拠点としてリニューアルを実施

新たな機能を備えた本館の改修工事および新館の新築工事を実施
(併せてR7～R8債務負担行為を設定)



- 国宝・重要文化財も随時公開可能な「公開承認施設」に対応
- 天橋立を一望でき、音楽会やアートイベント、マルシェなどユニークベニューとして活用可能な多目的ホールを設置



現在の丹後郷土資料館

令和8年度中のリニューアルオープンを目指す



11

予算案の規模

12



予算案の規模

令和6年度 現計予算

998,782百万円

令和6年度9月補正予算

1,017百万円

令和6年度
補正後予算額

999,799百万円

13

2 府債及び一時借入金

令和6年度における府債借入限度額として、当初予算で、一般会計627億6,200万円、特別会計1,586億7,900万円、合計2,214億4,100万円を計上しましたが、その後、6月定例府議会において、一般会計14億1,300万円、9月定例府議会において、一般会計1億円を追加計上しました。この結果、現計予算額は一般会計642億7,500万円、特別会計1,586億7,900万円、合計2,229億540万円となりました。

なお、令和5年度末の府債の残高は、一般会計及び特別会計を合わせて2兆3,903億2,377万円でありました。この結果、令和6年度末の府債の現在高見込額は、一般会計2兆3,701億9,529万円、特別会計237億8,957万円、合わせて2兆3,939億8,486万円となっています。

また、一時借入金は、1,200億円を最高限度として借り入れができることとなっています。

■ 平成10年度には、ピーク時500億円の一時借入れを実行しましたが、15年度以降借入実績はありません。

一時借入金の状況

